

(第2号様式)

首里東第 3607号
令和6年 3月19日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立首里東学校
校長 上間 均
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年7月19日 16:00~	場所	県立首里東高等学校会 議室	出席 状況	学校評議委員2人欠席
第2回	日時	令和5年12月19 日14:45~	場所	県立首里東高等学校会 議室	出席 状況	学校評議委員2人欠席
第3回	日時	令和6年3月15日 16:00~	場所	県立首里東高等学校応 接室	出席 状況	学校評議委員2人欠席

2 学校評議員に求めた事項

- ①各部から提出される学期ごとの反省や課題等に対する指導助言。
- ②授業参観における指導助言。
- ③学校評価アンケート(生徒・保護者・職員)の結果分析から今後の教育活動に対する指導助言。

3 学校評議員の意見

- ① 外部機関や外部講師の効果的な活用。
- ② 沖縄県の高校生は金融リテラシーが弱いため、金融教育の充実を図る必要がある。
- ③ 身なり指導等に関する助言として、企業によっては染髪している生徒を受け入れる企業もあれば受け入れない企業もあるので、OB等の外部人材を活用した指導の取り組み工夫。
- ④ 学校評価アンケートの結果から、教職員の数と清掃分担区の数合わないため、清掃指導が十分に行き届かない状況が見られる。今後の清掃分担や取り組み方などの工夫をしていく必要がある。
- ⑤ キャリア教育の推進に向けて外部講師を活用した講演会を取り入れて行く必要がある。
- ⑥ 就学支援員などを活用し、教室に入れない生徒の居場所づくりの工夫。

4 学校運営に反映した事項

- ①E-プロジェクトやドリスカなど、外部人材を活用したキャリア教育の継続的な取り組み。
- ②早期の進路決定に向けた、本校OB等による講演の実施。

5 課題その他

- ① 校則の見直しに向け、組織的、計画的に継続して取り組んで行く必要がある。
- ② GIGAスクール構想の推進に向けた取り組みの充実を図る必要がある。